【実施区域・面積】　　**生態里山林**

埼玉県和光市、白子宿特別緑地保全地区、0.3537ha

【実施区域の状況】　東京都区部に隣接する小規模な特別緑地保全地区であるが、武蔵野台地末端部の特徴的な湧き水（冨澤湧水）があり、貴重な自然が保たれている。周辺では顕著な都市化が進み、市民や子ども達が触れられる身近な自然を残すことが強く求められている。

【目標】　当会の目標は、身近な自然を知り、守り、活かすことを連携して行うことにある。上記の自然環境を維持し、それを残し、日常的に触れあえる自然環境として活用することである。

【主な活動内容】　小規模な緑地であるが、湧き水の仕組みがわかる湧水とその周辺の生態系を維持する手入れを実施し、小学生などの学習地としての環境整備を行っている。

【モニタリング計画】　通常の観察を通し、生物多様性が保たれる状況を把握するように、調査・記録を行っている。その結果を小学生などの学習の情報源となるように工夫している。

【実施体制】　地域の地形や地質、地下水、湧き水と、周囲の生態系との関わりを解説できる人材を擁し、持続的な生物多様性を維持するような手入れ作業が可能な人材を増やしている。総勢約50名、各活動では十数名が参加。



白子湧水群（白子宿特別緑地保全地区）の概観





【計画期間】

2025年10月～2030年９月